

キラリと光る汗... 今日の主役はあなたの笑顔

古江台だより 第二十二回 古江台ホール

大運動会



古江台ホールでは、6月中旬より、特養、デイサービス、ショートステイ、ケアハウスと各フロアごとに運動会が開催されました。今年は運動会の前日に大きな地震があり、開催を延期したフロアもありましたが、おかげ様で大きな被害もなく、楽しい運動会を行うことができました。

競技は、「栗ひろい」「お玉リレー」「玉入れ」「パン取り競争」、職員対抗「綱引き」と各種目、笑いありの真剣勝負！
ご高齢者の運動会とあなだるなかれ、見事なトンダグさばきにお玉使い、五十肩？もなんのそのブンブン職員めがけて(笑)飛び交う紅白の玉。
普段、身体が動かしにくい方も太鼓や笛、運動会



第75号
発行所：古江台ホール
池田市古江町18-2
TEL：072-754-6541
FAX：072-754-5678
info@furuedai.or.jp



負けへんでえ



の音楽を耳にされることで、自然と体が動く姿や、たくさんさんの笑顔を見る事ができ、私達も楽しいひと時を過ごすことができました。
お忙しい中、駆けつけて頂きましたご家族の皆様、応援ありがとうございました。また「古江台まつり」でお待ちしております。
古江台ホール 職員一同

特養アラカルト♪ 今年も古江台に夏が来る!



▲父の日だけども母も笑顔♪



▲母の日だけども父も笑顔♪



▲好みの衣服をショッピング



▲色彩豊かに豪華ランチ

「いつも、いつまでも感謝の気持ち」
今年も暑い夏がやってきます。夏の到来に合わせ、古江台ホール特養では、盛りだくさんの行事を行いました。「母の日」、「父の日」の企画では、ご入居者皆様と職員と一緒にランチを作りました。ご自身で作られた豪華ランチに、皆様格別の笑顔を下さいました。
毎年恒例の衣類販売では北田呉服店さんのご協力で、ご利用者にショッピングをお楽しみ頂きました。
ご利用者、ご家族、地域関係者皆様に感謝の気持ちを忘れず、今後もご支援させて頂きます。(山路知之)



対談 Vol.21

今回は総務部 平山雅子さんにお話を伺いました。
今年三月より社会福祉法人のぞみ・古江台ホール総務部で、日々業務に励んでくださっています。
「古江台ホールはどんなところと感じましたか？」
「ひと言では「居心地が良い」。空気がきれいで、自然に囲まれた環境の良い所で働けるのは、とても気持ちが良いです。駐車場からの眺望は素晴らしいですね。そして面白い方がたくさんいらして、毎日が楽しいです。
平山さんの趣味や特技を教えてください。
「物作りが大好きです。身の周りのあるもので、ぬいぐるみを作ったり、切り絵をしたり、手先を動かしている時間を楽しんでいます。編み物で世界に一つのセーターやレースのワンピースを完成しました。」

平山さんのお父様はDIY、お母様は手芸に熱心で、芸術家の遺伝子を受け継いでおられるようです。また、石鹸作りもされており、オリジナルの石鹸作りに興味のある方は、是非平山さんに話を伺ってみてください。
「居心地の良い職場で頑張ります。よろしくお願います。」
最後に・・・職員が安心して働ける環境を総務の皆さんがバックアップされています。
忙しい合間のインタビューにも、快く答えてくださいました。古江台ホールの受付はチャージングな笑顔でおお客様をお迎えいたします。



古江台ホール全体が大きく生まれ変わりましたが、デイサービスにも新しい風が吹いております。

デイサービスでは、ご利用者がいつまでも住み慣れたご自宅で過ごして頂けるように、一人ひとりに合わせた日常の活動を多く取り入れております。心も身体も生き生きとした生活を送って頂けるように、職員一同これからも頑張っていきたいと思っております。



平成30年5月誕生

いけだ さつきつづ



平成三十年五月一日、古江台ホール北館に、池田市で最初の看護小規模多機能型居宅介護事業所が産声をあげました。地域密着型サービスのため、池田にお住まいの方をご支援いたします。

看多機とは、通所介護サービスを中心に利用しながら、ご利用者の必要に応じてショートステイや訪問介護、訪問看護を組み合わせていることが可能で、常に看護と介護が必要な重度な方でも、継続して切れ目なくご利用いただけるサービス事業所です。

いずれのサービスを受けていただいても、顔なじみの職員がご支援し、人数登録制(上限二十五名)のため、他のご利用者とも馴染みの関係が作りやすく、家庭的な雰囲気の中で過ごしていただくことができます。

医療面においては、常に医療ケアが必要な方でも、安心して住み慣れたご自宅で療養生活を送っていただくことができます。

いつまでもわが街、我が家で暮らし続けていただければ、ご利用者の「生活」を全力で支えて参ります。

病気があっても障害があっても

住み慣れたこの街、この家で

平成30年4月誕生

複合介護施設



平成三十年四月、複合型介護施設「川西小花の生活」がオープンいたしました。

地域密着型サービスのため、川西市にお住まいの方をご支援いたします。

サービスは、生活の基盤となる「通い」「泊まり」「訪問介護」(小規模多機能型居宅介護)・入居施設(地域密着型特別養護老人ホーム)・住まいそのもの(サービス付き高齢者向け住宅)が、同じ建物内にごさいます。

また一階には地域交流スペースがあり、どなたでもご利用いただけます。

医療についても、街で在宅医療に取り組んでいる開業医と緻密に連携。

川西小花の生活



「生活を支える医療」で、病気の治療や定期的処置が必要な方でも、安心してご利用いただけます。

必要な情報がしっかりと提供されていれば、サービスが必要なタイミングですっきり利用できれば、それを手伝ってくれる人がいれば…。さいごまで笑顔で生きることができるよう、全力で取り組んでまいります。

必要な介護医療サービスが必要なタイミングですっきり利用できれば、それを手伝ってくれる人がいれば…。さいごまで笑顔で生きることができるよう、全力で取り組んでまいります。

厨房から



梅雨といえば、湿度と気温が上がりが始める季節です。とともに、六月からは食中毒の発生件数が増加する季節でもあります。

「今日は少し涼しいから、料理を常温で置いたけれど大丈夫だろう」なんて気持ちに要注意！食中毒の増加原因は、湿度、温度、栄養。とくに室温(二十五度前後)から増え始め、人肌(三十五度)の湿度五十パーセントが最も増加します。

特に厨房やキッチンには水、調理の温度、食材の栄養が揃うので、最も気を付けたいところ。濡れたら拭く、調理後はすみやかにガスや乾燥庫を開けて温度を下げる、料理は温蔵・冷蔵庫で保管し、おいしく安全に料理をお届けできるよう注意してまいります。